



中学校の校庭で装備品展示 城山フェスティバル

自衛隊東京地方協力本部八王子地域事務所（所長 森3陸佐）は11月25日、八王子市立城山中学校において開催された「城山フェスティバル」に参加した。

本イベントの開催目的は「青少年の育成」で、城山地区の青少年対策委員会が、同地区の生徒、保護者等を対象に毎年実施しており、今年で27年目を迎えた。今回のフェスティバルのテーマは交通安全、防災等で、警察からも自転車の安全講習、パトカー展示があるなど盛りだくさんのイベントとなった。

当日は、第1施設大隊から、高機動車、オートバイ等の車両及び人命救助システム展示支援を受けるとともに、広報ブースを開設し、制服試着体験、VR体験、自衛隊の概要説明等を実施した。参加した中学生や保護者は、自衛隊の車両や人命救助システム等を間近で見るのは初めての様子で、興味津々な様子で熱心に観察していた。

八王子地域事務所では、この厳しい募集環境の中、対象者の獲得、志願化等に軸足を置きつつ、平行的に地域の子どもたち、そのご家族等への自衛隊の周知、理解促進にも力を入れて、5年後、10年後の募集に繋げていきたいとしている。



連日大盛況 葛飾フードフェスタに参加

自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 藤野1陸尉）は11月25日及び26日、葛飾区新小岩公園で開催された「葛飾フードフェスタ」へ葛飾区役所との連携・調整によりコロナ禍後、初参加し広報活動を実施した。

本イベントは、葛飾区内の飲食店・食品製造業約40店が一堂に会す葛飾区史上最大のグルメイベントで、今回で10回目の開催となり2日間で延べ約8万人が来場した。

当日は、うなぎ・ラーメン・和菓子等、多彩なジャンルの葛飾グルメを始め、和太鼓・お笑いライブ・キッズダンス等のステージイベントで盛り上がる中、新小岩所が設置した広報ブースではVR体験、制服試着体験、非常用糧食（ミリ飯）展示等を行った。

多くの来場者が、自衛隊ブースの前で足を止め、ミリ飯の種類の豊富さに驚きの声をあげるとともに、特にVR体験では、老若男女問わずリアル体験に歓声が飛び交う等、終始大盛況だった。

新小岩募集案内所は今後も、地域に密着した募集・広報活動を自治体と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊に対する理解と関心を深め、入隊者獲得のために業務に邁進していくとしている。

